【学校教育目標】　夢に向かって　自ら学ぶ　豊かで　たくましい生徒

黒西中だより

http://kuronishichu.style.coocan.jp/　TEL　048-768-5454
心のホット相談室　TEL　048-764-1110

第　２　号
令和元年５月８日
生徒数　１年　９４名　３学級
２年１０４名　３学級
３年１０５名　３学級
合　計　３０３名　９学級

去稚心

学校長　宗方　健二

本校に新入生94名が加わり、新たな出会いを迎え、1ヶ月がたちました。10日間という長い休みを過ごし、生徒たちも新たな人間関係が確立する時期となります。お子さんの様子から「おやっ」と思うことがありましたら、学校にも連絡をいただくようお願いいたします。

さて、標題の去稚心ですが、人間の魂の成長を妨げるものは、稚心であると言われています。昔の書物にも「童心」という表現で、このことを指摘しています。

「童心は最もこれ人となるの一の大病なり。ただ童心を脱し了れば、すなわちこれ大人君子なり。ある人これを問う。曰く、凡そ炎熱の念、驕矜の念、華美の念、速やかならざらんと欲するの念、浮薄の心、声名の念は、皆童心なり」

（稚心、すなわち子供っぽい心が、人となる一番の障害である。稚心を脱却できれば、立派な人物といえよう。ある人が「童心とは何ですか」と問うたので、私はこう答えた。「人と張り合おうとする心、人を見下す心、華やかなものを求める心、せっかちな心、名声を求める心、これらはみな稚心である」）

稚心とは、自分のことばかり考えていて、他の人の気持ちを思いやる余裕がない心のことでもあると考えられます。

福井藩の橋本左内（1834～1859）もわずか14歳の時に書き記した「啓発録」の冒頭に「稚心を去る」を第1の心がけとすると記しています。さらにこの後には「気を振るう（よしやるぞ）」「志を立てる（必ずこうしよう）」「学に勉む（とにかく勉強だ）」「交友を択ぶ（心を許せる友達を選ぶ）」を指針として自分を練っています。

大型連休を終え、学校生活に対しての「慣れ」を持つことなく、そして「甘えの心」を持つことなく、自分自身を高めていってもらいたいと思います。学習、部活動、委員会活動、ボランティア活動など、上級生に頼るだけではなく、自分たちの持っている力を最大限に発揮し、蓮田市立黒浜西中学校の新たな伝統を築いてもらいたいと思います。私たちは、学校大好き、先生大好き、授業大好きと思われる学校づくりを目指します。明日が待たれる学校の創造に向けて、教師一丸となって子供の未来と可能性を伸ばしていきたいと考えています。ご家庭でも励ましてくださるようお願いします。